

春秋会

ニュースレター

2022.4



今月の予定

・ 4/19 (火) 12:00

幹事会

春秋会会員のみなさま

2022年度もよろしく申し上げます。堀川新広報委員長の下、本年度も会員の皆様にとって面白く、ためになる情報発信に努力してまいります。会報 2022 年春号も是非ご覧ください。

<http://osaka-shunjyu-kai.com/magazine/> (pass: 「sjk」)

広報委員会一同

6/4 第2回ゆるゆるゴルフコンペのお知らせ

好評につき(?)、6/4(土)、広報委員会主催、第2回ゆるゆるゴルフコンペを「くずはゴルフリンクス」(枚方市)で開催します。まだ参加枠には空きがありますので、お気軽にご参加ください。

参加希望の方は、山口昌之委員まで (masayuki@yamaguchi-law.jp) ご連絡ください!

2022 年度幹事長・委員長等ご挨拶

幹事長 飯島 奈絵 (46期)



～楽しい1年にしましょう!～

2022年度幹事長の飯島です。今年こそ、春秋会旅行にも、親睦会にも行きたい!!ですね。

2022年度春秋会執行部+委員長は、女性5人+男性7人。男性も育児を相応に負担するワークライフバランスにシフトした布陣で、「会派ならではの、いい意味で『密』で、ほっこりした、楽しい企画」をリアル/ハイブリッド/完全オンラインで開催予定です。お

気軽にご参加ください。

また、企画側は更に楽しいです。委員会も完全オンラインで、「アンペイドワークは出来る範囲で楽しく!」が今年の合言葉。フェイドアウトもありなので、ひとまず、委員会に入りませんか?

2022年度 広報委員

- ・堀川 智子 (57期、委員長)
- ・西原 和彦 (55期、担当副幹事長)
- ・有村 とく子 (50期)
- ・中森 俊久 (55期)
- ・山口 昌之 (58期)
- ・浦 寛幸 (59期)
- ・広瀬 元太郎 (60期)
- ・柳 勝久 (61期)
- ・木場 晶子 (67期)
- ・田村 瞳 (67期)
- ・板崎 遼 (67期)
- ・吉留 慧 (68期)
- ・高一成 (69期)
- ・根本 俊太郎 (70期)
- ・佐久間 ひろみ (71期)
- ・足立 敦史 (71期)
- ・村本 健司 (71期)
- ・河野 哲平 (71期)
- ・才木 晴幹 (72期)
- ・久井 大輝 (73期)

政策委員長 中島 宏治 (50期)



～参加したくなるような企画をご提案します～

本年度の政策委員長を担当することになりました中島です。政策委員会自体も初めてですが、せっかくの機会ですので、引き受けることにしました。

春秋会ホームページに掲載された政策委員会シンポの電子書籍を拝見し、前任の林委員長に何をしたらいいかお聞きしましたので、これから企画を詰めていきたいと思えます。

参加者が少ないととても残念ですので、参加したくなるような企画をご提案いたします。皆さまご参加の方よろしく申し上げます。

研修委員長 西念 京祐 (56期)



研修委員長となりました、西念です。

今年度も、昨年に引き続いて、弁護士会主催の研修とはちょっと違う角度から、春秋会が企画する独自の意義を追求しつつ、楽しくて、交流できて、そして役に立つ！テーマを取り上げていきたいと思っています。と言っても、コロナ禍の影響もにらみつつ、ハイブリッド開催などを余儀なくされる中ですので、これは！と思う企画案をお持ちの方には、ぜひ、そのアイデアを提供して頂きたい、なんなら、そのまま研修委員に加わって頂きたいと思っています。そうやって実現した研修企画で、皆さんとお目にかかれることを楽しみにしています。よろしく申し上げます！

親睦委員長 宮下 泰彦 (61期)



本年度、親睦委員会委員長を務めます中山法律事務所宮下泰彦(61期)です。昨年度は新型コロナの影響で新人歓迎旅行などの恒例企画が中止となり、親睦委員会としては残念な1年でした。本年度は、会員の皆様と楽しい親睦企画を実行したいと思えます。これまで会派活動などともにしてこなかった新人委員長ですが、どうぞよろしく申し上げます。

若手会代表 堀 智弘 (66期)



～お声がけいただいたからには～

2022年度の若手会代表に就任しました。よろしくお願いたします。

これまで春秋会の行事にもほとんど参加しておらず、春秋会のことよく知りません。また、春秋会で何かの役を与えられてもしかっとフェードアウトする必殺技を繰り出してきた私です。こんな私が若手会の代表を務めても大丈夫かな？と、不安で夜も眠れません。

ですが、今回は代表ということで必殺技も使えそうにありませんので、そろそろ二肌くらい脱いでみようと思っています。

コロナ禍のため活動の幅は狭いかもしれませんが、“とにかく楽しく！コロナ禍だからこそ”を目指して頑張ります！

広報委員長 堀川 智子 (57期)



広報委員会は、年2回の会報や月1回のニュースレターの編集発行、HPの管理を主な業務としています。また、会派ML(春秋ネット)の利用を躊躇われる新入・若手会員の方のため、MLへの匿名投稿等を可能にする仕組み(メーリスアドバイザー)も作って、運営しています。

広報は、皆様にとって、ほっと息をつき、新たな気づきがあるような内容を目指し、委員一同、楽しみながら企画の立案実行、取材、記事執筆をしていきたいと思ひます。皆様からの企画持込みも大歓迎です。

よろしくお願いたします。

ゆる～い古典芸能鑑賞のツボ @敷居は意外と低いんよ (弐)

小橋るり (51期)

【其弐 マンガ本篇】

能や文楽をテーマにしたマンガ本もあるんですよ。

★かぶく者 (もん) : 講談社

たなか亜希夫さん作(「ボーダー」を書いた作者ですね)、原作デビット・宮原さんのもの。モーニングという週刊漫画冊子に連載していました。役者の表情とか衣装のディテールが素晴らしいのです! モデルがあるのかな? を想像しながら読むのが最高ですね…。女形大御所のイケズとか新しいことをしようとする新人役者を潰そうとするおぞましい「業界あるある話」とか…。人形振りのことについて作者なりの解釈をしており大変に興味深いのです。これを読んで歌舞伎の「勸進帳」を実際ご覧になると一味違ってきます。関所番人富樫の解釈に幅が出るよー♪

★花よりも花の如く : 白泉社

エイリアン通りで有名な成田美名子さんの作です。能役者と狂言役者のことが描かれています。個別の演目に関する解説などもあって(例: 二人静)なかなかすぐれものです。「これってたぶん野村萬歳さんのことやんな?」っていうのもあってですね…



★火色の文楽 : ゼノンコミックス



北駒生さんの作品です。バレエ界の寵児と言われた男子がケガからその夢が絶たれ、その子が文楽の世界に突っ込んでいくマンガです。はい、荒唐無稽と言われればそれまでですが、身体的限界を越えていたその男子がなぜに文楽に魅かれたのか? という辺りがミソかな? 中古品しかないみたいですね。



関西からの日帰りローカル線紀行(1)

～静岡県：大井川鉄道 井川線～

広瀬元太郎（60期）

海外ローカル線紀行は、ご好評をいただいていたようであったが、新しい記事が書けないため、どんどん古いものになっていく。急速に変化する世界の鉄道について、5年以上前の記事をかくのもためられる。そこで、当面は、国内にターゲットを変更する。海外旅行に行けるようになったら、すぐにでも復活させたい。

さて、読者のみなさまは東京に出張の際、飽きるほど新幹線に乗っていると考えられるが、静岡県は素通りされている。富士山のところ以外は、仕事をしたり本を読んだり寝たりして、おそらく興味がないと思われる。それに、静岡県は長い。東海道新幹線、東京-新大阪間の515キロのうち約180キロ、3分の1が静岡県である。今回は、静岡県の大井川鉄道井川線を訪問する。

出発は新大阪 6:24 発のぞみ 60号。名古屋に 7:12 に着き、7:16 発ひかり 634号に乗り換え 7:46 浜松着。



静岡の旅に欠かせないのは、「ひかり」号である。のぞみは例外なく静岡無視だし、こだまは、名古屋と新横浜の間の9駅すべてに停まるが、駅ごとにのぞみを退避するので、停車時間が長く、小田原などは果てしなく遠い。そこで、30分に一本の「ひかり」が活用できる。「ひかり」の停

車駅のパターンは複雑で、「米原と岐阜羽島+静岡県の駅に2つくらい停まる」が原則形で、名古屋新横浜間で3つ停まるが岐阜羽島と米原は通過とか、静岡や浜松には停車せず小田原に停車、岐阜羽島と米原も停車とか、規則性が不明である（解析していない）。このような複雑な停車パターンのことを「千鳥停車」といい、阪神電車がこれを行っている。



浜松7:58発の東海道本線に乗り換え、8:39に「金谷」という駅に着く。ここから、大井川鉄道が北に分岐する。大井川鉄道は、金谷から千頭(せんず)間の大井川本線と千頭から井川までの井川線にわかれている。大井川本線は、SLが走っていて、昭和を描いた映画のロケに使われた

り、鉄道ファンには人気であったが、いまはSLは走っておらず、「EL急行」という電気機関車が、旧型の客車を引く列車が走っている。大井川本線は、そのほか、昔の大手私鉄の中古車が走っており、全国的に、鉄オタの吸引力が強い線区である。



私が取材したのは、令和4年の3月20日(日)で、全国的にまん延防止措置が解除される前々日であったが、同業者(弁護士という意味でなく鉄の)で満員であった。

私の乗った大井川本線の車両は、金谷発8:59の元東急電鉄の車両で、2両連結だ。電車は、大井川にひたすら沿って茶畑の中を遡る。この日は、晴天で、いかにも静岡県という風景である。のぞみに乗っていると10秒くらいで渡り切ってしまう印象に残らない川であるが、極めて激しく蛇行をしており、Ω字のようである。静岡県は、旧国名でいう

と、駿河と遠江に分かれる(伊豆もある)が、駿河国と遠江国の境が大井川である。

1時間強の乗車で、大井川本線の終点の千頭に10:15に着く。ここから、井川線に乗り換える。井川線は、レールの幅こそ大井川本線と同じ1067mmであるが、ダム建設のために建設された森林鉄道でまた、鉄道施設は中部電力が所有している(大井川鉄道が賃料を払っていると思われる)。車両の規格は遊園地の電車に近い。

私の乗った列車は、千頭発 10:20、5分の乗り換え時間で千頭を発車する。井川線の長さは25.5キロしかないが、所要時間は1時間50分という強烈な遅さである（時速14キロ）。この距離は、淀屋橋から南海本線の春木までの距離とほぼ同じで、こんな列車しかなかったら、恐ろしくて岸和田支部の事件は受けられない。



しかし、この2時間はかなり面白い。大井川源流部の美しい流れをひたすら見ながら、窓を全開にして激しい曲線を経て登って行くのは楽しい。井川線のお客は、鉄道マニアだけではなく普通の観光客も多いが、飽きて居眠りをしている人は少ない。

日本に残された数少ない森林鉄道としても十分面白いが、鉄的には外せないものが3つある。

ひとつは、井川線には日本再急勾配区間かつ、そこを登るためのラックレール式鉄道である。

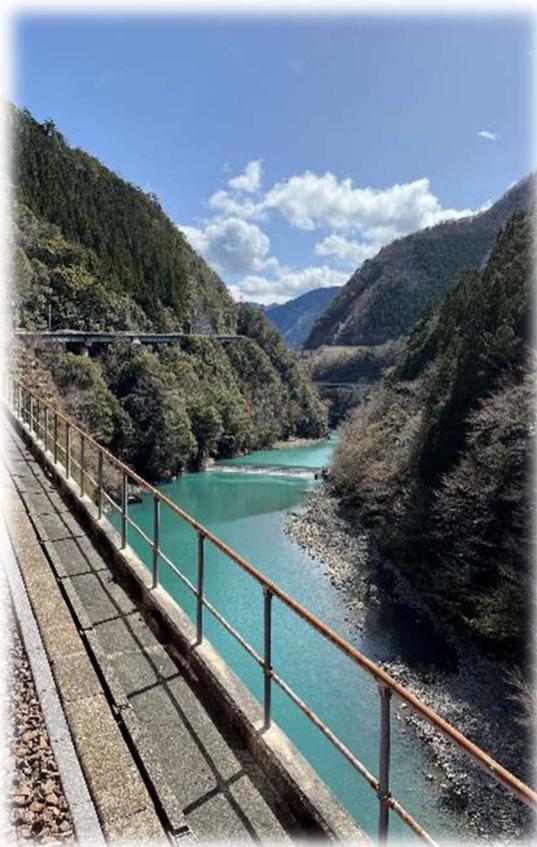
説明しよう。通常の鉄道は、車輪と鉄のレールの摩擦力により坂を登る。車輪と鉄のレールの摩擦係数は、ゴムタイヤとアスファルトのそれに比べて極めて小さいため、エネルギー効率は高いが、登坂能力は弱い（滑る）。そのため、摩擦力のみを利用して坂を登る通常の鉄道には限界がある。この通常の鉄道のことを粘着式という。いつま

でも過去のことにとこだわる奴みたいな名称であるが、こう呼ばれている。

粘着式の限界を超えて坂を登るために、レールとレールの間に、歯車を噛ませるギザギザのもの（ラックレールという）と機関車側にある歯車を噛み合わせながら走行する方式がある。この方式をラックレール式という。ラックレール式は、さらに細かくアプト式とかシュトループ式とか、リゲンバッハ式とかドイツ語っぽいものに分類されるが、マニアックすぎるので深追いしない。井川線には、このラックレール式で、日本最急勾配90%を登る区間がある。ラックレール式は、スイスのユングフラウ登山鉄道等で用いられているが、日本ではここだけである。

このラックレール式の区間では、ラックレール式専用の機関車が連結され、目で見て分かる急こう配を登っていく。この機関車の付け替えは、鉄分の強く

ない客にとっても面白いらしく、三密状態になっている。



次の出し物は、「奥大井湖上駅」である。1990年長島ダムの建設によって、井川線が水没することになり、その代わりに新線が建設された。その時に、ダム湖の突端に駅ができた。地図を見ればこの駅の立地条件のすごさは理解できる。鉄道趣味の категорияに、駅の周辺に人家のない駅を探访する「秘境駅マニア」というものがあるが、その界限では割と有名な駅である。ただ、この駅は明らかな観光駅であり、観光地によくみられる「恋愛成就のための錠」を奉納する所があったりする。この駅の愛称を「奥大井恋錠駅」と定めるなど、少しやり過ぎ感はあるが、ここで大量の客が下車した。



3つめは、日本一高い鉄橋、関の沢橋梁である。高さは、70.8m。ビルの25に相当する。橋の高さは、写真からはわかりにくいが相当なものである。

このようなイベントを交えながら、約2時間かけて終点の井川に12:07に着く。終点の井川駅のそばには、井川ダムがある。ダム建設のために作った鉄道であるから当然であるが、残念なことにダムしかない。大阪から半日かけてやってきた井川駅は寂しい。



折り返しの列車は、12:34に井川を発車する。帰りは、千頭まで井川線で折り返す方法とバスで帰る方法がある。鉄道ファンとしては寂しいが、バスのほうが1時間近く早く着く。この時間差を利用して、接阻峡温泉という途中駅で温泉に入るということも可能である。それも検討したが、この日は若干寒く、湯冷めするのも嫌なので、その時間を食事に充てることにした。

千頭発 14:55 の昔懐かしい客車列車に乗り、金谷、浜松を経て、19時には大阪に戻ることができる。

・新大阪ー浜松(新幹線 EX-IC)	8, 370 円×2=	16, 740 円
・浜松ー金谷 (JR)	770 円×2=	1, 540 円
・大井川鉄道一日乗車券		4, 100 円
合計 交通費		<u>22, 380 円</u>



今月の一曲 ～「明るい表通りで」～

青木佳史 (41 期)

新年度からは趣向をかえて、ある一曲をテーマに、よもやま話をしてみます。お付き合いくだされば幸いです。

初回は、朝ドラ「カムカムエヴリバディ」で再び脚光を浴びている「明るい表通りで」” On the Sunny Side of the Street “ です。

この曲に出会ったのは、たしか修習生時代、今江祥智さんの小説、その名も『明るい表通りで』の中でした。舞台は1960年代の京都。主人公のかずみは父子家庭に育つ5才の少女ですが、周りはどうさんもお仲間も、かずみを一人前に扱って、音楽や文学、絵画、ベトナム戦争の話までが飛び交います。かずみは、どうさんが好きでときどきかける女の人が大きな口をあけて歌っているレコード（それはビリー・ホリデイさんの



『奇妙な果実』というLPでしたが)の6曲目「明るい表通りで」が耳に残っていました。ステップを踏むようなピアノの前奏から軽快なメロディで短い歌が歌われますが、英語の歌詞はちんぷんかんぷん。何を歌うてはるのん?と尋ねると、とうさんがこんなふうに日本語にしてくれました。

通りにも明るい側と暗い側が、

日の当たるところ、当たらないところがある。

日の当たるところをいこうじゃないか……。

もともとは1930年、NY大恐慌のさなかにブロードウェイミュージカルのために作られたジミー・マクヒュー作曲・ドロシー・フィールズ作詞による作品です。コートと帽子を取って、悩みは家に置いて、さあ日の当たる方へ飛びだそうよ、というシンプルで世情にあった歌詞と明るいメロディから、やがてジャズのスタンダードになります。件のサッチモ(ルイ・アームストロング)は4回も録音していますし、器楽演奏としても、歌物としても、名だたるミュージシャンが手がけており、日本にも戦前のジャズ興隆期に入ってきたようです。



※ サッチモの1934年フランス録音(カムカムで使用されたバージョン)

https://youtu.be/m9PSfjvc_bg

日本語タイトルからちょっと誤解しがちなのですが、この歌は人生の成功(日のあたる表舞台に立つこと)を夢見るものではありません。人生はいろいろあるけれど、どうせ行くなら日の当たる側を歩こう、という積極的生き方の薦めです。特にビリー・ホリデイが歌うと、悲しみと明るさが同居した独特の声から、差別下の厳しい黒人の現実を見据えつつも前を向いて生きていこうという力を感じます(同じ歌でも、白人歌手、たとえばF・シナトラのそれとは全く異なる景色が見えます)。

※ ビリー・ホリデイ 1944年

<https://youtu.be/lnk0YI2BPNA>

さて日本。古くは江利チエミやフランク永井から、和製ブルースの憂歌団の木村充揮、ボサノヴァの小野リサまで幅広く歌われていますが、お薦めはバンバン・バザール。大胆な意識をした日本語歌詞に軽快なジャグバンド風の演奏で高らかに歌われるのは、市井の人々に寄り添った応援歌のようです。



暗い夜にも 夜明けは来る あきらめないで まんざら捨てたもんじゃない
悲しいことにはさよなら 楽しいことばかり夢見て さあ 歩こう 輝くこの道を～

※ バンバン・バザール

<https://youtu.be/-uTfuRaDYp8>

※ この曲の古今のいろいろな名演奏を集めた Spotify のプレイリストはこちらから

<https://open.spotify.com/playlist/3KluytPPEtcdHloUkgW0Q9?si=bf28bcda3aa74ae9>



親睦委員会「オペラ座の怪人」鑑賞会報告

満村和樹（72期）

親睦委員会の恒例イベントになりつつある劇団四季の鑑賞会ですが、3/12、無事「オペラ座の怪人」鑑賞会を開催することができました。

ご参加いただきました先生方ありがとうございました。



ようやく春を感じるような気候となった日の鑑賞会になりまして、気持ちのいい休日をお過ごしいただけたのであれば幸甚に存じます。



さて、ここから少し雑感を。

劇団四季の「オペラ座の怪人」は昔から有名ですが、凄いと噂に裏切られることのない圧巻のクオリティでした。演出や舞台装飾、何ととっても音楽、どれをとっても一級品ですが、それでいて

バランスを失うことのない、誰もが感動できる素晴らしい演劇だと感じました。

本当であれば、観劇後は親睦会を催したいところでしたが、コロナウイルスの近況から開催とはなりませんでした。

もっとも、来年度の企画の際には、状況に応じて開催できればと思っております。前回の「リトルマーメイド」鑑賞会で用意したチケットは20枚で、今回は30枚と増やしましたが、先生方のご意見も聞かせていただく中でさらに増やしてより大きな親睦イベントにしていければなと思っております。



ご意見お待ちしておりますので、もしよろしければ親睦委員にお声掛けください。

以上、劇団四季の鑑賞会についてのご報告でした。

法律クイズ（改正個人情報保護法 編）

Q1 令和2年度改正により、「個人情報取扱事業者は、偽りその他不正な手段により個人情報を取得してはならない」ことが定められた。

Q2 保有個人データの開示は、書面の交付による方法が原則であったが、令和2年度改正により、当該本人が請求した方法（当該方法による開示に多額の費用を要する場合その他の当該方法による開示が困難である場合に

あつては、書面の交付の方法)により、保有個人データを開示することになった。

Q3 令和2年度改正により、個人データの漏えいに関しては、一定の件数を超えた場合に限り、漏えい等の報告が求められる。

(回答はこちら↓)

osaka-shunjyu-kai.com パスワードは、「sjntnt」



メーリスアドバイザー

春秋会には、メーリングリストがあり、当番弁護士や法律相談の交代から、ちょっとした質問事項、意見・討論等が繰り広げられていますが、なかなか新入会員や若手会員にはハードルが高いのが現実です。

ちょっと飲み会の席でしか聞けないような疑問を会派の先輩に聞いてみることで、助けられたことはいっぱいありました。しかし、今は、コロナ禍で飲み会も少ない…

そこで、広報委員会では、新入会員や若手会員が直接書き込みにくい質問や意見を、「若手の方がこんなこと言ってますよ」とか「こんな質問が出ています」という形で、匿名にしてメーリングリストに投稿するという便利な仕組みがあります。

- ・ 事務所のボスや先輩に聞いてみたいけど、初歩的過ぎて、質問したら怒られそうな疑問。
- ・ 他の弁護士は、どう処理するのかなというちょっとした疑問。
- ・ この事件って、着手金どのくらいとるのですか、聞きにくい疑問
- ・ 自分の入った事務所、大丈夫ですか？との生々しい疑問

を、メーリスアドバイザーでお願いしますと、下記にお送りください。

horikawa@lion-law.com

【注意事項】

広報委員で検討して、できるだけ早くお答えするか、匿名情報にして春秋会メーリングリストに流します。なお、広報委員名簿は、左に載せてま

すので、事件の質問をするときは、守秘義務や春秋会員が相手方弁護士である場合等には気を付けてください。

ニュースレターの原稿大募集します

広報委員会といたしましては、このニュースレターを双方向的なものにしたいと思っており、皆様の原稿を大募集します。ぜひ、投稿ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

下記にお送りいただければ、ニュースレターに掲載させていただきます（もちろん、一定の審査はさせていただきますが…）

horikawa@lion-law.com

会報・ニュースレター閲覧状況

広報委員会電子刊行物のアクセス数（3月31日現在）

- ・2021年度会報春号（他会派にも公開） 628（3/28～3/31）
- ・ニュースレター3月号（春秋会のみ公開） 419